

病院を上手に利用しよう

わたしたちとでもできること

わたしたちの健康を守る病院。

串間市には唯一の総合病院『串間市民病院』があります。あらためておさらいし、上手な病院のかかりかたについて考えてみましょう。

はじめに

わたしたちが、日々健やかに過ごすためになくてはならない存在の病院。健康維持のため、病気やけがなどの治療のため、検診や検査にと、年に数回と言わず足を運ぶのが病院です。

わが串間市には地域唯一の総合病院『串間市民病院』（以下、市民病院）があります。救急外来を設けていることもあり、わたしたち市民にとって、とても頼りになる存在です。

今回は、病院を上手に利用できるような市民病院に焦点を当ておさらいしてみましょう。

診療科目と診療時間(外来)

市民病院には7つの診療科があり、診療時間は表(左ページ下)のとおりとなっています。

科によっては、受診できる曜日が決まっていますので、十分注意しましょう。

市民病院の診療時間は基本的に午前中のみ(耳鼻咽喉科・皮膚科を除く)です。午後の時間帯は、内科については内視鏡検査、肝生検などの検査・治療のほか入院患者の検査や治療、投薬内容を見直すなどの時間に充てられています。

また、外科や整形外科、泌尿器科においては手術業務があり、産婦人科においてもお産や緊急帝王切開などに備えています。

このように、各科ともに午後の時間帯にも多岐にわたり業務が予定されているため、突然来院しても、診療に応じてもらえなかったり、待ち時間が長くなる

なったりすることがあります。

やむをえず診療時間外に診察を受けたい場合は、必ず前もって連絡しましょう。

病院に行く前に確認しよう

効率的・効果的に診察をしてもらうため、わたしたちがどのような点に気をつけたらよいのか、市民病院黒木院長にお話を聞きました。

「初診の場合、またはほかにかかりつけがある場合には、次の3つに気をつけてください」と話します。

- ① 診療科・診察時間
- ② 健康保険証
- ③ 紹介状・お薬手帳・健康手帳

① 診療科・診療時間の確認
いざ、病院に行ってみると休



診：という経験をしたことはありませんか？ また、待ち時間が長い、後から来た患者さんと診察の順番が前後したなんてこともあるのではないのでしょうか。このような経験をしないためにも、事前に診療科と診療時間の確認をしておきましょう。

検査を希望するときなどは、前日までに連絡をすればあらかじめ予定を組めるので、診療がスムーズに進みます。

② 健康保険証
健康保険証は必ず持っていていきましょう。忘れてしまった場合には、かかった医療費の全額を実費負担しなくてはなりません(後日、保険証を持参すると差額分を返還してもらえます)。

③ 紹介状・お薬手帳・健康手帳
ほかにかかりつけの病院がある場合、可能な限り紹介状を書いてもらいましょう。紹介状がない場合は、健康手帳やお薬手帳だけでも結構です。過去の病歴や普段受けている治療、内服



串間市民病院 黒木和男院長

薬などの情報がないと、時に必要のない検査をされたり、同じお薬を処方されるなどのトラブルにもなりかねません。

もし、お薬手帳がない場合には、「最低限でも服用している薬の説明書き(薬局で薬をもらう際に発行される)でもあれば助かります」とのことです。

夜間・休日などの急病時には

まずは、電話連絡しましょう。市民病院では救急外来を開けていますが、入院患者の病態悪化時に備えた当直医が兼務しています。

本来は救急外来のみに対応できる医師の配置が必要ですが、



「緊急時にはまずはこちらにご連絡ください」と医師のみなさん

現在、医師不足により当直医が入院患者と救急患者の両者に対応しなければなりません。

このような状況であるため、前もっての連絡をせず突然来院するとすぐには診てもらえない場合があります。来院時には初診時と同様、保険証・お薬手帳も忘れずに持ってきていきましょう。

また、会計業務ができないため、預かり金(1万円)を支払わなくてはなりません。後日、改めて清算に行く必要があります。

医局からのお願い

診療時間外の来院について、黒木院長は次のように話します。

「われわれ医師は、当直業務が明けた後も引き続き日中の勤務を行います。当直翌日に疲労困ぱいで集中力を欠いた状態で診察すれば、何らかの事故にもつながりかねません。軽症の場合には、夜間の安易な受診(いわゆるコンビニ受診)を控えてください」

また、小児診療についても「当院には小児科医がいないことを改めてご理解ください。そのうえであれば、解熱剤や抗生物質などのとりあえずの処方は可能です」と話します。市民病院の現状では、専門的医療が必要な状態の小児の対応は困難であるため、まずはかかりつけの医師

にご相談ください。

かかりつけ医に連絡がつかない場合には、次の機関で受診または相談しましょう。

- ① 日南市初期夜間急病センター
☎ 23-9999
- ※午後7～10時まで(年中無休)
- ※小児科にも対応
- ② 宮崎県小児救急医療電話相談
☎ 0985-3518855
- ※午後7～10時まで(年中無休)
- ※看護師が病状に応じたアドバイスをしてくれます。

また、脳神経外科や循環器科についても「医師が常勤でない

【診療科および診療時間(外来)】 (○：診察 ×：休診)

診療科目・診療時間	月	火	水	木	金	
内科	午前	○	○	○	○	○
	午後	～ 検査・病棟 ～				
外科	午前	○	○	×	○	○
	午後	～ 手術・病棟 ～				
整形外科	午前	○	○	○	○	○
	午後	～ 手術・病棟 ～				
泌尿器科	午前	○	○	○	○	○
	午後	～ 手術・病棟 ～				
産婦人科	午前	○	○	○	○	○
	午後	×	×	×	×	×
耳鼻咽喉科	午前	○	×	×	×	○
	午後	○	×	×	×	○
皮膚科	午前	×	×	×	○	×
	午後	×	×	×	○	×

* 午前診療の受付時間=午前 11 時まで
* 午後診療の受付時間=午後 4 時まで
* 救急患者については、休診でも診察可。事前にご連絡ください(☎ 72-1234)。

◎ 問い合わせ先 串間市民病院
☎ 72-1234

ため、緊急を要する脳疾患や心疾患に対しては応急的な対応しかできません。このほか、眼科や耳鼻咽喉科などの救急疾患に対しては対応ができませんので「ご理解ください」と話します。

このような点を踏まえ、慌てて病院に駆け込む前に「最も適切な手段」を確認しましょう。

あなたの大切な時間とお金を効率よく使い、より健康でいるためにも上手に病院を利用しましょう。